

# せいい乳児院の窓から

第127号 2021年9月



8月31日現在、石川県のまん延防止等重点措置は9月12日まで延長になりましたが、収束のきざしはいまだ見えません。この状態が延々と続いていきそうな気さえます。毎年の夏の行事のひとつ、健民プールは感染症拡大防止のため7月30日に営業停止となり、楽しむことができませんでした。代わりに2階バルコニーで家庭用プールを用意して、水遊びをしました。子どもたちは水遊びが大好きです。頭から水をかけても楽しそうに笑っている子、はじめは恐る恐るでも少し経つとはしゃぎだす子、一緒に遊んでいる大人も楽しい気持ちになります。

子どもたちが4~6人程度の少人数単位で生活する小規模ケアを進めています。少人数の子どもたちと家庭に近い雰囲気をつくり、一人ひとりに時間を十分とってゆったりと過ごしたいと考えています。生活の中のさまざまな場面を工夫すること、職員の配置を増やすことなど課題を解決しながら進めていきたいと思えます。保護者の皆さんの面会は引き続き、原則控えて頂いています。子どもたちの様子は、お便りや写真でお伝えしていきます。ご了承ください。  
(院長 中村秀人)

## 夏のようす



### ・お楽しみ会・



今年も新型コロナウイルスの影響で6月に予定していた電車遠足を中止しました。

その代わりに、少しでも楽しんでもらおうとバルコニーでお弁当を食べたり、おねえさんお手製のダンボール電車に乗って院内を散歩したり、栄養部さんのお菓子屋さんへおやつを買いに行ったりしました。



バルコニーにはシートを敷き、みんなで輪になって座りピクニック気分を味わいました。お弁当を開けると電車のおにぎりが入っていて、子どもたちは大喜び！お買い物では、子どもたちも慣れた様子で好きなお菓子を選んで、栄養部さんとやり取りをして、「ありがとう」が言える子も増えました。子どもたちの楽しむ姿を見て、次はどんなお楽しみ会をしようかなあ♪と考えるおねえさんたちでした。



### ・七夕・

7月7日、七夕まつりをしました。

子どもたちと一緒に作った飾りやお願い事を書いた短冊を笹に飾りつけました。きれいな七夕飾りに興味津々な子どもたちでした。

笹の前で記念写真を撮りました。  
みんなの願い事が叶いますように！



## ・夏祭り・

7月29日、夏祭りをしました。

子どもたちは甚平に着替え、ワクワクドキドキ！まずは、縁日会場へ。お魚釣り・ボールすくい・おばけの輪投げ・お面屋さんがあり、好きなお店を回ったり、みんなで踊ったりと思う存分遊びました。その後は、スイカ割をしました。今年は、積極的に何度も挑戦する子がいました。

沢山遊んだ後は、お腹がペコペコ！みんなの大好きなお食事会です。から揚げ・焼きそば・えびフライ・グラタン・夏やさい…など、たくさんのお料理をバイキング形式でいただきました。他にも流しデザートやみんなで力を合わせて割ったスイカも分け合って食べました。楽しいひと時を過ごしました。

後日、「スイカ、パッチンしたね」「踊ったね」と子どもたちは話していました。良い思い出になったようです。



## ・聖母マリア被昇天祭・



8月15日は聖母マリアが現世での生を終え、天に召されたことを記念する日です。今年は聖堂が改装中の為、子どもたちはつばめ室にあるマリア像の前に集まり、シスター粉山のお話を聞きました。

その後、みんなで「マリアさまの心」を歌い、一人ひとりお花をささげました。



## ・食育活動・



☆6月16日、子どもたちはパン屋さんになりました。材料をひとつずつ加えながらパンは何からできているのかを知り、色々な形や味のパンを作る経験をしました。ビニール袋に小麦粉・砂糖・牛乳・バター・イースト…を順番に入れて「もみもみ」とこねて、「まるまる」と丸めてパン生地を作りました。しばらく、生地をねかせて発酵が終わると、「おきてー！」と声をかけて生地をトントン叩く可愛い姿がありました。

次は、好きな具材（ポテトサラダ・ソーセージ・チーズ・カレーチョコスプレー・あんこなど）をトッピングして、オープンに入れてスイッチ ON！パンのいい匂いがしてきました。ひとりひとりのオリ



シナルパンが完成～！昼食にみんなで焼き立てパンをいただきました。子どもたちはパンが大好きです。



☆春に植えたミニトマト・大根・枝豆の苗にせっせと水をやり、野菜の成長を目の当たりにしてきた子どもたち。実ったトマトを友だちと採って、「おいしい！」と顔を見合わせて喜びました。初めて見る大根の姿には、少し緊張気味で大人と一緒に抜く子、友だちに刺激されて「うんとこしょ、どっこいしょ！」と一人で抜く子もいました。お昼に栄養部さんに‘大根ごはん’を作ってもらいました。枝豆は、枝からさやをとる作業をしてレンジで加熱してもらい、たくさん味見をしました。



栽培を通して、野菜のおいしさを改めて感じる事ができました。食べ物に「いただきます」「ごちそうさまでした」と、子どもたちに感謝の気持ちを伝えていきたいと思えます。

## 泣いたり笑ったり

### かもめ組 Oちゃん（6か月）

Oちゃんは、お友たちと遊ぶのが大好きで、声を掛けられたりなでなでしてもらって、ニコニコ・キャッキヤと笑っています。そんなお友だちに早く近づきたくて、寝返りしたと思うと体を動かし前進。前進したかと思うと体をくねらせお座り完全。早いよー。



### つばめ組 Mちゃん（3歳2か月）

Mちゃんは水あそびが大好きです。たらいの中でバケツに水をすくって、頭から自分で何度も水をかっぶってゲラゲラ大笑い！まるで修行している人のようで面白く可愛らしかったです。たくましいMちゃんでした。氷遊びでは、氷が溶けていく様子を「だんだん小さくなって」と夢中で観察していました。これからも、もっといろんな楽しい発見ができるといいな。



## 大人の思い -毎日をふり返って-

「私の養育目標」7月の振り返りから、今回は新人職員を中心に選びました。1人で複数の子どもを見るのは乳児院の日常ですが、どの子にも丁寧に関わるには経験の積み重ねが求められます。受け止めてもらえたどの子どもも感じられるように関わっていきたくいですね。

- 夜勤明けや早番で朝食後の時間に1人で5、6人の子どもを見ているとトラブルが多い。そんな中、日勤の職員が部屋に入り、子どもと関わる姿を見かけると、自分の関わり方や自分の感情について反省することが多い。安

定した気持ちを持って関わりたい。

- 子ども一人ひとりの性格や今の状況（里親交流や慣らしなど）をふまえ、自分との関係性も考慮した関りを意識した。子どもの気分が乗らない時は気持ちよく気分が乗るような言葉かけを意識したが、急がしてしまうこともあった。
- 一人の子がぐずって抱っこなどを求めた時、できるだけ応えたいけれど他の子とのバランスも考えなければいけなくて、そこら辺のバランスを取るのが難しいと感じた。特に、夜勤時二人で協力して夜を乗り越えないといけない時の対応が大変だと思った。
- どうして泣いているのか分からず、いっぱいいっぱいになることが多かった。一人が泣くとつられてみんなが泣いてしまうことが多いが、そうなると抱っこもできず余計慌ててしまった。子どもの「〇〇したい」を叶えてあげられない時、他のことで気分転換できるよう考えていきたい。

## 乳児院改築 -建物と新事業-

乳児院3階です。親子宿泊支援室の「ひよこ」があります。今年度から取り組む新しい事業に使います。



(左) ひよこ室 親子で宿泊してもらい、育児を支援します。また周産期からの母子支援をとおして、母子の愛着関係が育まれるようにします。お風呂、トイレ、台所完備の快適なお部屋です

(右) すずめ室 ショートステイ室と考えていますが、今のところ、面会やあそび場として使っています。



(左) 洗濯室 12kg用3台と5kg用1台の洗濯機があります。奥には業務用ガス乾燥機があります。子どもたちの清潔な衣服を準備する大切な場所です。

(右) 和室 2室あります。ボランティアさんの休憩や保育実習生の休憩場所として使っています。



## ご支援ありがとうございました。

2021年6月1日から2021年8月31日までに、寄付・寄贈にご協力いただいた方々のご紹介をさせていただきます。

### 【寄付金】

香村新也 島津幸子 匿名の方1件

### 【寄付物品】

株式会社明治 コマツユニオン北陸支部  
母子保健推進会議 P&G 株式会社 東京子ども図書館  
中日新聞社会事業団北陸支部 押野赤十字奉仕団  
(敬称略)



### ■編集・発行 聖霊乳児院

〒920-0865 金沢市長町1丁目5番46号

TEL 076-223-2878 FAX 076-222-7589

HP <https://www.kanazawa-seirei.org/nyujiin/>